

長野県

高森町・喬木(たかぎ)村豊丘村商工会

3商工会広域で、 カード事業や経営支援を共通化

高森町、喬木村、豊丘村の3商工会は、2007年度から広域連携に取り組み、講演会や講習会の共同開催やカード事業の推進をしてきたが、4月からは経営指導員が3商工会を通じて活動し、連携事業をさらに拡充していく予定だ。

●カード利用促進、商品券配布

広域連携拡大の1つめは、18歳未満の子どもがいる世帯を対象とした「サンプレミアムカード」。子育て世帯の生活支援や商業振興が目的で、3町村に在住・在勤している人が対象。06年度に高森町商工会が始め、08年度に喬木村商工会、昨年度は豊丘村商工会が参加した。協賛する約



90店で割引などのサービスを受けることができる。

カードの利用促進を目的として、昨年10月には商品券の配布も行った。高森町では使える店は限定されているが、全239世帯に配布。喬木村も使える店は限定で、全335世帯のうち抽選で150世帯に配布。豊丘村は11月末までに登録した世帯のうち105世帯(先着順)に協賛店全店で使える券を配布した。

●3町村通じて経営支援

併せて4月からは、3商工会の経営指導員が3町村の約650事業所を通じて対応していく。支援業務すべてを対象にした取り組みは県内初の試み。今後、県の商工団体に対する補助金の減額や指導員の減員なども想定される中、支援を強化する狙いだ。

3商工会は、11月25日に豊丘村で合同理事会を開き、取り組み内容を確認した。高森町の会員事業所330、喬木村の会員事業所143、豊丘村の会員事業所172に対し、高森町2人、喬木村1人、豊丘村1人、計4人の指導員が約1カ月ごとに3商工会を移動して会員の支援にあたる。

島根県

斐川(ひかわ)町商工会

美人の湯のまち、 お茶漬けでプロジェクト始動

美人の湯として有名な町内の湯の川温泉にちなんだ観光振興を狙い、商工会(岡正明会長)が中心となつて取り組んできた「びじんまち斐川」プロジェクトの第1弾「びじんダネ茶漬け」が開発され、12月1日から道の湯の川駅で販売している。

11月には、道の湯の川駅で関係者ら約20人が出席して「びじんダネ茶漬け」発表試食会が行われた。ご飯の上に、宍道湖の淡白なスキの白身と卵そぼろ、水菜の漬物などを載せ、町産のお茶と特産・出西しようがの粉末で作った茶漬けふりかけをかけ、だし汁を張って食べるヘルシーな仕上げがらだ。

岡会長は

「斐川の環境や地場産品は、美人のタネ。今後も健康・癒し・生き方・遊びなどをテーマにプロジェクトを推進し、『食』を中心として大きな花が咲くよう育てていきたい」と意気込んでいる。



山形県

出羽商工会

庄内から関西へ「Dファーム」活躍

商工会(小野木覚会長)は農商工連携でのビジネス創出をねらい、2010年7月に農家や加工業など44人で「農業部会」を立ち上げたが、昨年10月末には96人と部会員が倍増しており、積極的な活動を展開している。

農業部会は、農商工の交流により新産業や雇用の創出につなげようと、研究会を開催してきた。昨年8月には、県庄内総合支庁「食の都庄内」親善大使・古庄浩さんを通じて関西圏への販路拡大を目指し、大阪市内で県との共催による商談会を開催。10月末には農作物を関西圏などに売り込むための「Dファーム」を設立、大阪市内での東北復興物産展にも参加した。

Dファームは、部会員が作った作物を関西圏などに販売する窓口として設けられ、商工会本所(鶴岡市)に専用電話回線がある。販路拡大で生産者と消費者のつながりを作り、温泉熱を使った体験農園や植物工場「アグリランド」(仮称)の建設・運営も検討している。今後は出資を募って会社組織にしていく考えだ。

小野木会長は「部会員には新しいビジネスについて意欲的な人が多い。昨年11月には、庄内米7.5トンの販売契約を大阪の卸業者と結んだ会員もいます。随時参加者を募って拡大を図り、観光業にも結びつけ、地元の需要も増やしていきたい」と話している。

商店再開、仮設店舗9事業所でスタート



中野会長は「村民らの尽力でこの日を迎えるこ

沖縄県 豊見城(とみぐすく)市商工会青年部



知念司さん

とができた。結い、の精神を忘れずに、発展をめざしていきたい」とあいさつした。

テープカットの後、B1グランプリに出展した久慈まめぶ汁などの炊き出し、民謡ショーも開かれ、商工会は買い物客にアイロン80個をプレゼントした。

理容店を再開した北田マサさんは「再開できないと思うこともあったが、一歩踏み出すことができた。お客さんが戻ってくるか不安もあるが、頑張っていきたい」、来場した新山幸子さんは「多くの人ののおかげでお店が再開して大変ありがたい。これを機に村が活気づいてほしい」と期待を寄せている。

JR駅の無人化回避で、商工会が職員配置

JR東海が無人化の方針を示していたJR高山線の飛騨萩原駅と飛騨金山駅に、商工会などが専従職員を配置することで、無人化が回避される見通しとなった。専従職員は従来通り乗車券や特急券、定期券などを販売することができる。

昨年8月にJRから無人化方針が伝えられ、市は鉄道の公共性や地域振興の観点から見直しを求めていたが、JRは利用者減を理由に難色を示していた。商工会は、飛騨萩原駅周辺には行政機関や益田清風高校があることから、利便性や教育環境の悪化、観光地としての悪影響も懸念し、運営を担うことを決定。市がJRと交渉したところ、12月22日までにおおむね合意に至った。

JRは市に販売手数料などを支払い、市は人件費の一部や駅舎改修費などを負担する。本年度中にJRと市が業務委託契約し、市が商工会などと契約または協定を結び、商工会などが従事者を雇用する。飛騨金山駅は、金山町商工会と同観光協会が協力して同様に運営していく予定。

第163回 全国商工会珠算検定試験 1級満点合格者

(平成23年11月20日実施)



星野紗希
埼玉県富士見市商工会
池田珠算塾



藤森香奈
静岡県浜北商工会
内山珠算塾



安部陽香
愛知県岩倉市商工会
名和学園



伊藤聖宜
愛知県岩倉市商工会
名和学園



清水志帆
広島県安芸津町商工会
松山珠算学院

男の料理で家族とコミュニケーション

商工会青年部(安里基部長)は11月27日、部員を対象にした料理教室を初めて開催した。

(日本料理技能向上全国大会郷土料理部門で国土交通大臣表彰)が務め、女性委員を含め17人が参加した。メニューは新鮮なマグロを使ったマグロたたきサラダ、マグロステーキ、マグロしそチーズフライの3品。

講師は那覇市などで料理店を営む知念司さん

安里部長は「男性も料理することで家族の会話が増えるなど、コミュニケーションに役立つと思う。知念さんのお手本通りにつくろうと頑張ったが、プロの指導のおかげで意外と簡単においしく作ることができました」と笑顔で話していた。

熊本県
阿蘇市商工会葉っぱビジネス活用し、
創作郷土料理を限定販売

阿蘇市の「なみの高原やすらぎ交流館」のレストランでは、昨年10月から、商工会女性部波野支部メンバー考案による季節の葉っぱを飾った創作郷土料理（1000円）を提供している。この日のメニューは、波野産そばを使った「そばいなり」のほか、「キャベツメンチカツ」など12品。「葉っぱビジネス」を手がける生産団体「色彩阿蘇」（森新一代表）が、PRを兼ねてイチヨウやナンテンなどの葉っぱ6種を無償提供した。焼いたサケの切り身には緑の柿の葉を添え、赤いモミジは、ピーマンに添えるなど色鮮やかな料理が並んだ。ススキの茎で作った箸も用意した。

交流館のレストランでは、毎月第2日曜日に、地元5女性グループが交代でオリジナル料理を提供している。30食限定。

大分県
玖珠（くす）町商工会女性部一人暮らし高齢者の
買い物支援を
試験実施

商工会女性部（渡辺房子部長）は12月5日～20日、町内の一人暮らし高齢者約600人を対象にした「買い物支援事業」を試験的に行った。

集落内に食料品や日用品の店がない地域や、商店までの交通手段がないなど、生活必需品の購入に困っている高齢者を支援し、併せて小規模店舗の販路拡大を狙った。

女性部員の店舗など、約15店舗が事業に参

加した。自治会などを通じて一人暮らし高齢者に取り扱い商品のリストを配布、商工会が8時30分～17時30分まで電話で注文を受け付けて、女性部員が店舗ごとの品物をまとめて各家庭に配達した（2000円以上は手数料無料）。

今回の成果により、来年度も商工会や町の応援を得て、事業継続を検討することになっている。